



神奈川11区（横須賀市、三浦市）
労働の解放をめざす労働者党

あくつ孝行
(67才)

★悪臭芬々の安倍自民党政権打倒!
★長時間労働に象徴される搾取労働、非正規労働者に代表される差別労働の即時廃絶を!

【選挙事務所】

〒238-0052 横須賀市佐野町5丁目30番
電話・FAX 046-895-0732
党のホームページ <http://wpl1-j.org/>

私の人生、私の生き方——あくつ孝行

私は「労働の解放をめざす労働者党」から立候補しましたあくつ孝行です。この横須賀、三浦の地で育ち、小中高も学び、大学では教職の資格を得て、このふる里の地の県立三崎高校をスタートに県内の多くの高校で生徒たちとともに、生徒たちを愛し、教えるというように共に学びながら、教職の41年間を生きてきました。特に、教職の後半生には定時制の恵まれない環境で学ぶ子供たちを教え、彼らを励まし、自信と勇氣をもって社会に送り出すことを生き甲斐の一つともしてきました。

それと同時に、大学卒業と同時に、横須賀に志を持つ若者たちによって組織されていた、「横須賀社会科学研究会」に参加し、それ以来、一貫して労働者、働く者のために、その生活の改善や充実、幸福や未来のために生きようと考えるようになりました。

私たちは30年、40年前には、社労党などの名で国政選挙にも何回も挑戦しましたが、供託金だけで何と合計9千万円にもなるような、不公平、不公正な差別選挙制度のもとで、挫折しました。

しかし私たちは、捲土重来を合い言葉にサークルとして闘いを継続し、今年春、新しい労働者、勤労者の政党を再建し、国政選挙に復帰し、この私のふる里、神奈川11区で最初の闘いを開始しました。

今、都知事の小池や、民進党などの解散にともなう政治家の出处進退を見ても、彼らの腐敗や議員病や、自分の利得やエゴだけで右往左往するありさまを目の当たりにするにつけても、私の人生や生き方からすれば、あり得ない醜悪なさまに見えます。私は国会に出て行っても、あんな議員には決してならないと、その点では自分を信じ、ああした腐敗議員になるなら死んだほうがましだと、思っています。生まれも育ちも人生も、親譲りのエリート政治家とは全く関係のない私ですが、働く仲間のために生きるという気持は一貫しています。働く仲間の一票を、労働者党の私に集中してくださいように、心からお願ひします。